

2016 年6 月4 日に無事盛会となった年次総会の前日、6 月3 日にJSPE とJABEE（日本技術者教育認定機構）による初のJoint Symposium が開催され、JSPE 総会に出席したNSPE 会長Tim Austin 氏にも同席して頂きました。“Bridging the JABEE students and the US PE licensure”という題目で3つのテーマについてディスカッションを行いました。



1. Historical relationship between ABET and US PE licensure system by Mr. Austin (NSPE)

US におけるPE ライセンスシステムの歴史について紹介されました。PE でもCivil Engineerの割合が高く、その他分野のEngineer は限定的であり、その理由の一つにIndustrial Exemption（公共事業体およびGE などの大企業が各州政府にロビー活動を行いPE でなくてもこれら事業体、企業の中においてはエンジニアリング業務を行ってもよいという法解釈）があると説明されました。

2. Non-JABEE engineering education syllabus and its English translation by Mr. Kawamura (JSPE)

JSPE で実施したシラバス英訳サービスについて、日米における技術者資格関係組織の相関と共に説明しました。Non-JABEE 技術者がPE を取得するために大きな手間がかかる現状を共有できたことで、JABEE によるProgram Certificate 発行の重要性について理解して頂けたと思います。

3. JABEE Accreditation and Professional Engineers by Dr. Honjo (JABEE)

JABEE 及びJABEE を取り巻く環境や、国際協定の枠組みについて紹介されました。日本では約1500～2000 の工学プログラムのうち約500 のプログラムがJABEE の認定を受けていますが、旧帝大のプログラムが

かなり少ないことが一つの大きな課題となっています。また、文科省・経産省の支援を受けて設立された機関でありながら、Washington Accord 加盟の条件であるNGO として存在しているというジレンマがあり、技術者教育プログラム認定に関する国内と諸外国の大きな温度差について、常に悩まされている立場にあるようです。JABEE がJSPE とのMOU 締結を決断したのはそのあたりの事情も一つの要因としてあるのかもしれませんが。

今回のSymposium では日本人技術者を取り巻く環境や現状の課題などを共有することができました。今後の活動の指針となり得る有意義な会であったと実感しています。このような機会は今後増えていくと思いますので、技術者教育制度や技術者資格制度に興味のある方はぜひともご参画ください。

【参加者】

JSPE: 川村会長、横山理事、柴山理事、渋谷理事

NSPE: 2015-2016 会長 Mr. Tim Austin

JABEE: [国際委員会] 本城委員長、久保委員、笹口委員（日本技術士会国際委員会）

[事務局] 石井審査部長、鈴木事務局長